

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成			事業番号	017-008
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出	
			有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.4
			有	取組	百舌鳥古墳群の保全			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画		
3	事業開始年度	平成 6 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	景観法、堺市景観条例、屋外広告物法、堺市屋外広告物条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民（約81万人）、建築業・屋外広告業等事業者			対象数	単位
					約81万	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	適切に景観形成を進めることにより、本市の魅力向上を図る。また、まちなみの美しさを高めるため、総合的な景観施策の展開と景観誘導を進める。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・本市全域において、大規模な建築物や工作物の新築などを行う場合、景観法及び堺市景観条例等に基づき、大規模建築物等の届出制度による行為の制限（景観形成基準）に基づく審査を実施することで、実効性ある景観誘導を進める。特に、百舌鳥古墳群周辺地域においては、小規模建築物を対象にするなど、認定申請制度による形態・意匠の制限に基づく審査を実施することで、百舌鳥古墳群に相応しい良好な景観形成を図る。 ・安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進し、良好な景観を実現するため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づき許可制度を実施する。また、百舌鳥古墳群周辺地域では、基準に適合しない広告物について、周知・啓発・指導等を行うことで早期に適正化を図る。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）					
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	景観法に基づく大規模建築物等の届出数及び景観地区の認定申請数	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値	120	120	120	120
			実績値	134	145		
			達成率	112%	121%		
	当該指標を選定した理由	適正な制度運用により、実行性のある景観誘導を進めることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	例年の届出等件数から、目標件数を設定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	堺市景観アドバイザーによる助言件数	件		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	30	20	20	
			実績値	12	20		
			達成率	40%	100%		
	当該指標を選定した理由	専門的な知識及び経験を有するアドバイザーによる助言を受け指導することにより、良好な景観形成の推進を図ることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	例年の届出等件数から目標件数を設定					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	良好な景観の形成	事業番号	017-008
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	3,817	6,983	9,094	8,445	6,413
財源内訳	国支出金		2,475	3,735	3,734	0
	府支出金					0
	市債					0
	その他（世界遺産保全活用推進基金）	2,580				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	849	1,243	1,498	976	5,535
	一般財源	388	3,265	3,861	3,735	878
14	人件費（b）	53,125	57,635	56,625	56,625	50,475
15	年間経費（c）=（a）+（b）	56,942	64,618	65,719	65,070	56,888

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	景観審議会委員等報酬	決算		510	0	消耗品	決算		37	0
		予算		939	102		予算		51	0
	計画策定等委託料	決算		7,469	3,735	通信運搬費	決算		60	0
		予算		3,640	625		予算		155	0
	筆耕翻訳費	決算		53	0	その他	決算		13	0
		予算		222	111		予算		140	40
	印刷製本費	決算		224	0		決算			
		予算		1,154	0		予算			
	その他保険料	決算		79	0		決算			
		予算		112	0		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

単位	区分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 大規模建築物等の届出件数、景観地区の認定申請件数	件	134	145
	② 上記①にかかる年間経費	千円	16,400	18,630
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	122,388	128,483
備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	建築時の啓発リーフレットによる周知や、景観アドバイザー制度を活用した効果的な事業者への助言・指導により、景観法に基づく大規模建築物等の届出制度や百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定制度について、適切かつ円滑に運営することができ、良好な景観形成を図っている。なお、景観計画改定作業のため事業費は増えているが、適切な改定により今後の良好な景観形成につながる。 また、百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物については着実に適正化が進んでいるほか、屋外広告物の許可件数も増加傾向にあり、安全かつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進することができた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	大規模建築物等の届出制度や百舌鳥古墳群周辺地域での景観地区認定制度を適切に実施することにより、実行性のある景観誘導を着実に進めている。制度の運営に当たって、景観アドバイザーによる専門的な知見に基づくアドバイスを活用することで、事業者等への助言指導を適切に行っている。 また、良好な景観の創出に向けて、その方針と実現に向けた取組を示す堺市景観計画について、令和4年度より改定作業を進めており、景観審議会での議論を踏まえ改定案を取りまとめた。 さらに、屋外広告物の規準等について周知啓発を行うことにより事業者の理解を得ることで、百舌鳥古墳群周辺地域において広告物の適正化を促進している。 これらの取組により、持続的に良好な景観形成を図り、都市の魅力向上に寄与している。
----	--